

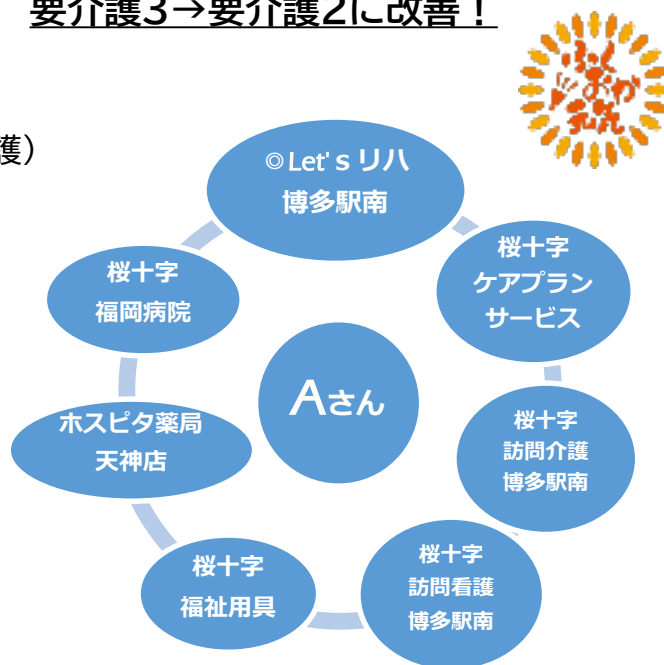
チームスローガン

役割を持ち、楽しみながら活動的に過ごすことができる
目標「外出をみんなと楽しみたい」

○ご利用者
Aさん、90代、女性 **要介護3→要介護2に改善！**

○代表事業所
Let'sリハ博多駅南
(地域密着型通所介護)

○チーム構成
(◎が代表事業所)



Let'sリハ博多駅南は、リハビリに力を入れている桜十字福岡病院がプロデュースするデイサービスです。リハビリの専門家が常駐し、各利用者にあったプログラムを立案しています。

施設に入居されたことで外出の機会が減少したAさんが、意欲的な生活ができるよう、本事業へご参加いただきました。

取組み内容

骨折による入院中に、**認知機能の低下**や**環境変化による夜間不穏**などの症状で自宅復帰が困難となり施設へ入居。デイサービスの利用を開始。

(Let's リハ博多駅南の内観)



デイサービス利用の際は【**役割**】を持って、【**楽しみながら活動的**】に過ごしていただくことを意識。以前は教師をされていたこともあり、他のご利用者を気にかけられていた様子から、話しかけが必要な他のご利用者と同じテーブルに配置するなど、**ご本人の強みを活かせるような工夫**を行いました。

ご家族からは、**ドライブなどの外出**や**人と話すこと**が好きだと伺っていたため、季節ごとのドライブレク(桜などの花見や飾り山笠見学等)、イベント(夏祭り・敬老会・クリスマス会)を開催。今回Aさんが90代とご高齢であったことから、リハビリでの目に見える効果だけを意識するのではなく、まずは**デイサービスが楽しい場所**だと感じてもらうことで、継続して利用いただけるよう、スタッフ間・事業所間でも情報共有しながら介入。

結果、リハビリにも前向きに取り組まれるようになり、精神面の安定や身体機能の維持につながりました。

今回参加させていただき、ご家族や本人様とお話しする機会が多く持てた点では、より利用者様のことを把握する良いきっかけになったと思います。(Let'sリハ博多駅南 秀山様より)

チームスローガン

買い物に行けるようになろう！

～ソフトバンク和田選手に負けない熱い心とあきらめない気持ちをもって～

目標「自分で品物を選んで買い物したい」

「息子達のために自分ができることはしたい」

○ご利用者

西田 美智子さん、70代、女性

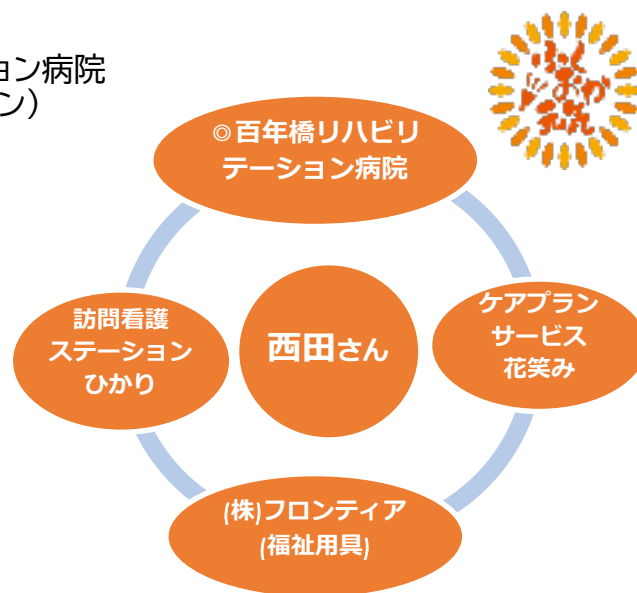
要介護2→要介護1に改善！

○代表事業所

百年橋リハビリテーション病院
(通所リハビリテーション)

○チーム構成

(◎が代表事業所)



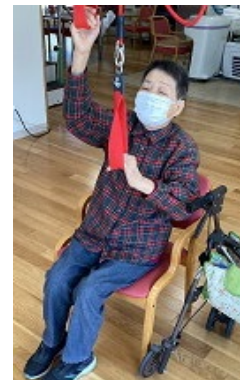
百年橋リハビリテーション病院の通所リハビリテーション(デイケア)では、運動や訓練を継続したいという強い意志を尊重し、退院しても機能回復を果たしたい方への充実したリハビリを提供されています。

転倒の心配から外出を控えられていた西田さんに、自信を持ってもらいたいという事業所の思いから、本事業へご参加いただきました。

取り組み内容

圧迫骨折で入院するまでは、自宅から歩いて30分ほどのスーパーに買い物に行ったり、家事全般を行っていましたが、退院後は転倒の不安から外出を控えられていました。

デイケアでの3か月に1度の**体力測定結果などの数字**を根拠に、ご家族も含め、まずは近距離での外出の検討から始めました。実際の歩く距離、不整地、人通りなどの環境を想定して、事業所の近くで**屋外歩行、横断歩道を渡る練習**を実施。その結果、自宅近くのコンビニまでは1人で行けるようになりました。ご家族含め、体力向上と歩行の安定を感じられています。必要なものを自分で購入できることで、ご家族の負担軽減に繋がっていることを本人も実感。



ご本人が難聴のため、コミュニケーションを取る際には**表情や手振り**を交えて丁寧な対応を行い、大好きなソフトバンクホークスの話題を取り入れながらリハビリを行うことで、**モチベーションを保ちながら**取り組むことができました。

以前のようにスーパーまで買い物に行きたいという希望がありますが、まだ不安がある状況。できる限りご本人の希望を叶えられるよう、安全な方法で買い物できる場を作れるような検討を行っています。

当事業所の課題でもある利用者の卒業支援に悩んでおりました。今回の取り組みに参加する中で改めてリハビリマネジメントの大切さや卒業支援に対する職員の意識付けになったと思います。また、利用者様ともリハビリに対する意欲や明確なゴール目標を共有して再構築することができました。ありがとうございました。(百年橋リハビリテーション病院 松尾様より)

チームスローガン

本人と家族を専門職が支える！

「したいをできるに」を叶え、本人の活動的な生活を取り戻していくために

目標「一人で歩けるようになりたい」

「一人で散歩できるようになりたい」

○ご利用者

中山 禎之さん、70代、男性 **要介護4→要介護3に改善！**

○代表事業所

Let'sリハ原田
(地域密着型通所介護)

○チーム構成

(◎が代表事業所)



(Let's リハ原田の外観)



Let'sリハ原田は、リハビリに力を入れている桜十字福岡病院がプロデュースするデイサービスです。リハビリの専門家が常駐し、各利用者にあったプログラムを立案しています。

入院による筋力低下等で、以前のような生活ができないことからご本人のメンタル低下を感じた事業所が、本事業への参加を提案。ご家族からの「父にとって良い刺激になると思う」との肯定的なご意見もあり、本事業へご参加いただきました。

取組み内容

入退院の繰り返しにより身体機能・ADLの低下が見られ、ご本人もご家族も生活に不安を感じていました。

まずは歩行器や手すりの設置など福祉用具の導入による環境整備を行い、デイサービスでは、理学療法士が監修した転倒予防のための集団リハビリ及び自主訓練(マシントレーニングや段差昇降訓練等)を段階的に実施。ご家族には身体機能評価をフィードバックし、ご本人が出来ること・出来ないことを把握していただきました。トライ&エラーを繰り返しながら訓練を継続した結果、自宅内の動作がスムーズになったことで、メンタルも向上しました。



自信がついてきた段階で、スタッフ同行による屋外歩行訓練を実施。ご家族とも情報共有することで、休日にはご家族で様々な観光スポットに出掛けられるようになりました。活動が活発になったことで「もっと何かできるようになりたい」「他の利用者のために何かしたい」との思いが生まれ、食事の準備や片付け、花壇のお世話など運動以外にもデイサービスへの参加を楽しめるようになりました。



「一人で散歩できるようになりたい」という目標がありますが、交通量の多い地域で生活されているため、環境調整や実践を重ね、ご本人の希望が実現できるよう取り組みを継続しています。

今回、この事業に参加し、あらためてデイサービスの必要性や機能に関して考えることができました。中山様にとっても、自分の目標を意識し、運動や生活をする良い機会になったのではないかと思います。この経験を活かし、今後も利用者様が満足できるようなサービスを継続していきたいと思います！」(Let'sリハ原田 牧之瀬様より)